

# 付知地域まちづくりビジョン

住民が支えあう安心で安全なふるさとづくり



夏の付知峡



無形文化財（木曳音頭）



無形文化財（翁舞）

付知町まちづくり協議会

# 目次

	Page
I. はじめに	1
II. 付知地域まちづくり基本方針	2～4
II-1 互いに助け合うコミュニティづくり	
1. 自立した協働のまちづくりの推進	総務企画部会 5～6
2. 助け合い・支え合いの推進	生活福祉部会 7～9
II-2 地域産業を生かした活力あるまちづくり	
1. 地域産業の振興	農林商工部会 10～14
2. 観光資源のPR	農林商工部会 15
3. リニア中央新幹線開業に向けたまちづくりの検討	農林商工部会 16
II-3 安全で便利な暮らしができるまちづくり	
1. 公共施設等の整備	農林商工部会 17
2. 防災・防犯対策への取り組み	生活福祉部会 18～20
3. 地域情報伝達システムの運営	総務企画部会 21
II-4 安心できる温かい福祉のまちづくり	
1. 高齢者福祉の推進	生活福祉部会 22～23
2. 健康づくりの推進	生活福祉部会 24
II-5 次代を担う子供たちの未来を確かにするまちづくり	
1. 地域で取り組む子育ての推進	教育文化スポーツ部会 25～26
2. スポーツの推進	教育文化スポーツ部会 27
II-6 キラリと光る歴史・文化のふるさとづくり	
1. 伝統芸能と文化交流の推進	教育文化スポーツ部会 28
2. 文化の振興	教育文化スポーツ部会 29
III. 付知地域まちづくりビジョン骨子	

## ◆参考資料

- ・まちづくり協議会の組織図

初 版	平成 22 年 4 月
一部改訂	平成 23 年 5 月 26 日
一部改訂	平成 24 年 4 月 27 日
一部改訂	平成 25 年 4 月 30 日
一部改訂	平成 26 年 4 月 30 日
一部改訂	平成 28 年 4 月 27 日
一部改訂	令和 1 年 5 月 8 日

## はじめに

### 付知町まちづくり協議会「ビジョン」策定にあたって

平成 22 年 1 月現在の付知地域の人口は 6,510 人になっており平成 17 年 2 月の合併当時の人口 6,811 人と比較して、約 300 人年間 60 人ずつ減少していることとなります。市町村合併当時の試算では 2025 年には付知町の人口が 4,500 人に減少するとしており強い危機感を持っていました。これからは地域住民が主体となったまちづくりの重要性が求められています。



早川 正人 会長

そこで、平成 19 年 3 月、区長会ははじめ商工会、文化協会等付知地域で活動されている全組織に声をかけ、皆様の協力により付知町まちづくり協議会が発足いたしました。

特にこのまちづくり協議会は、中津川市によってつくられた組織ではなく、付知地域から自発的に立ち上げた自分たちの組織です。市で決まったことを地域の皆さんにお願いしたり、実行したりするという性格のものではない事をよく理解していただきたいと思えます。

町議会に代わるものが区長会です。この地域の実情を把握し町民の要望を上げていくのは区長会を中心とした付知町内の各組織の皆様であり、それを実行していくのがまちづくり協議会の仕事です。

まちづくり協議会の活動内容が理解され、「さてこれから！」という時期に役職が終わり、また一からということの繰り返しにならないように、どうか役職を終えられた役員のみなさんもまちづくり協議会が実施する事業に参加していただいたり、一人でも多くの町民の方にまちづくりの考えを広め情報を上げていただくなどご協力をお願いいたします。

今年度は役員の皆様が身近な方々に声をかけていただき、まちづくり協議会の資金である寄付件数が多くなり寄付金も集まり大変ありがたく思っております。

国や県から予算が下りてくるわけではありませんので、活動の為の資金確保は重要な課題です。平成 22 年度はみなさんから頂いた活動資金を基に、皆さんの知恵を形にして行動に移す第一歩となるよう取り組んでいきたいと思えます。

今回のまちづくりビジョンは合併して 5 年、付知町まちづくり協議会が発足し 3 年が経過し、今後のまちづくりの明確な方向性を示すことで「自助・互助」を基本とした一体感のあるまちづくりを進め、地域に必要なまちづくり協議会となるよう活動を行っていきたいと考えておりますのでご協力をお願いします。

平成 22 年 4 月

付知町まちづくり協議会  
会長 早川 正人

# 基本目標

## 住民が支えあう安心で安全なふるさとづくり

### II. 付知地域まちづくり基本方針

#### II-1 互いに助け合うコミュニティづくり

##### 1 自立した協働のまちづくりの推進

###### (1) まちづくり協議会の運営

- ① まちづくり協議会の自立した活動に向けて
- ② 安定的な活動資金の確保と会員の掘り起こしについて

##### 2 助けあい・支えあいの推進

###### (1) 地域における助け合いや支え合いの推進

- ① 地域住民間のつながりについて
- ② 地域の困りごと事業について

###### (2) 女性を中心として参画したまちづくりの推進

- ① 女性母体づくり事業について

#### II-2 地域産業を生かした活力あるまちづくり

##### 1 地域産業の振興

###### (1) 農業の振興

- ① 農業特産物の生産について

###### (2) 林業の推進

- ① 森林（山林）の果たす重要性の啓発と維持管理について

###### (3) 商工業の振興

- ① 商工業の活性化について
- ② 産直住宅の推進について

###### (4) 農林業後継者（担い手）の育成・確保

- ① 農業・林業の後継者、担い手の育成・確保について



まちづくり協議会総会



つけち森林の市

(5) 若者定住・移住の推進

- ① 地元就職先、住居の情報管理

2 観光資源のPR

(1) 観光の振興

- ① 地域資源の有効活用とPRについて

3 リニア中央新幹線開業に向けたまちづくりの検討

(1) リニア中央新幹線開業による地域のまちづくりの方向性の検討

- ① 中間駅開設に向けた地域のまちづくりについて



付知峡不動滝

II-3 安全で便利な暮らしができるまちづくり

1 公共施設等の整備

(1) 道路・公園の整備

- ① 観光道路及び観光施設の整備・改修の推進について

2 防災・防犯対策への取り組み

(1) 防災対策の推進

- ① 災害時における要援護者の対策について  
② 地域における防災対策について

(2) 防犯対策の推進

- ① 地域における子供たちの安全確保について

3 地域情報伝達システムの整備・運営

(1) 地域情報伝達システムの運営

- ① 地域住民の安全・安心を守るための情報伝達システムを運営する



防災体験（非常食炊飯）

II-4 安心できる温かい福祉のまちづくり

1 高齢者福祉の推進

(1) 高齢者福祉の推進

- ① 敬老会の継続開催について  
② 高齢者の生きがい対策について



健康ウォーキングコース

## 2 健康づくりの推進

### (1) 健康づくりの推進

- ① 健康の維持・増進について

## II-5 次代を担う子供たちの未来を確かにするまちづくり

### 1 地域で取り組む子育ての推進

#### (1) 子供たちと地域の関わり

- ① 地域で取り組む子育ての推進について

#### (2) まちづくりに対する子供たちの参加

- ① 子供たちの夢をまちづくりに生かすための活動について



乳幼児学級

### 2 スポーツの推進

#### (1) 生涯スポーツの推進

- ① 地域スポーツ活動について

## II-6 キラリと光る歴史・文化のふるさとづくり

### 1 伝統芸能と文化交流の推進

#### (1) 文化・芸能活動の推進

- ① 後継者育成について



スポーツレクリエーション祭

### 2 文化の振興

#### (1) 文化財・史跡の保護活動

- ① 文化財・史跡の保護について



文化祭

Ⅱ-1 互いに助け合うコミュニティづくり

1 自立した協働のまちづくりの推進

【総務企画部会】

項 目	(1) まちづくり協議会の運営
内 容	① まちづくり協議会の自立した活動に向けて
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくりに対する考え方が会員に浸透していない。</li> <li>・地域住民が必要とする組織となっていない。</li> <li>・役員があて職となっており団体の代表が変わってしまうとまちづくり協議役員も変わってしまう。</li> <li>・自立に向けての人材の育成、まちづくり研修会などへの参加する機会が少ない。</li> <li>・NPO つけちなどの他団体と協力しながら事業を実施している。</li> <li>・まちづくり協議会が主体となり、行政との協働による協議会としていく必要がある。</li> </ul>
方 向 性 (施策)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自らが行うべきこと(自助)、仲間と支えあって行うべきこと(互助)、公として取り組むべきこと(公助)を区分けし協議会活動を推進していく。</li> <li>・地域住民に向けてまちづくり協議会の活動を積極的にPRしていく。</li> <li>・まちづくりに関する講演会、先進地視察等を実施し、知識見聞を広げ、民間が行うまちづくり講習会等にも積極的に参加することで指導者の育成を図る。</li> <li>・地域に必要な組織とするため、大学などの研究機関の協力を得て、地域住民を対象としたまちづくりについての「アンケート」を実施し「市民の思い」を反映させ方向性を明確にしていく。</li> <li>・各構成団体が独自の活動を展開し、底辺からの拡大を図る。</li> <li>・ホームページを有効活用し、リアルタイムな情報の提供及び収集を進める。</li> <li>・新聞社などのメディアを活用し事業活動のPRを推進していく。</li> </ul>



河川清掃（草刈り）作業



まちづくり講演会

Ⅱ-1 互いに助け合うコミュニティづくり

1 自立した協働のまちづくりの推進

【総務企画部会】

項 目	(1) まちづくり協議会の運営
内 容	② 安定的な活動資金の確保と会員の掘り起こしについて
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・寄付金に依存している現状をふまえ、活動資金確保の検討を行う。</li> <li>・地域住民にまちづくり協議会の活動が周知されていないため、活動資金が集まりにくく、会員の新規加入も少ない。</li> <li>・補助事業等の研究、検討が行われていない。</li> <li>・一般からの個人会員が少ない。</li> <li>・まちづくり協議会だよりの発行計画を年 6 回実施している。</li> <li>・公民館の指定管理者制度を導入した。</li> <li>・リサイクル資源倉庫の管理、運営を行っている。</li> </ul>
方 向 性 (施策)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくり協議会活動に対する理解を得ることで地域住民が会員となり、活動資金(会費負担)確保について検討を行う。</li> <li>・区会、町内会、サークル等の集会時にまちづくり協議会の活動内容等のPRに努める。</li> <li>・補助事業の研究を積極的に取り組み活動資金としていく。</li> <li>・団塊の世代の参画を推進し活性化を図る。</li> <li>・個人会員の登録を推進していく。</li> </ul>



付知町新年会



ゆるキャラ「天然(あまねん)」



Ⅱ-1 互いに助け合うコミュニティづくり

2 助けあい・支えあいの推進

【生活福祉部会】

項目	(1) 地域における助け合いや支えあいの推進
内容	① 地域住民間のつながりについて
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民間のつながりが希薄になっている。</li> <li>・どこに誰が住んでいるのかがわからないことがあり、災害時等住民同士の助け合いや支え合いが難しい。</li> </ul>
方向性 (施策)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの行事等を活用し、地域住民同士の交流の場所づくりを進める。</li> <li>・高齢者、老人クラブ等の協力により、ふれあいセンター、地域の集会所を活用した「居場所」「たまり場」づくりを進める。</li> </ul>



ひまわり種まき



お達者クラブ

Ⅱ－1 互いに助け合うコミュニティーづくり

2 助けあい・支えあいの推進

【生活福祉部会】

項 目	(1) 地域における助け合いや支え合いの推進
内 容	② 地域の困りごと事業について
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少子高齢化がますます進む現代において、移動手段を持たない交通弱者の移動手段の確保が必要とされる。</li> <li>・買い物については、ショッピングセンターさのやの行っている移動販売があるが、その他の移動については市のコミュニティーバスに頼っている。</li> <li>・地域内にあるごみ集積場の多くは町内の主要道路に面しており、構造物として集積カゴを設置できない所も多くある。その為、小動物等にあらされることがある。</li> </ul>
方 向 性 (施策)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通弱者の移動手段の確保は永遠の課題であり、今後も現状のコミュニティーバスを含め、市と協議し、利便性の高い交通手段について検討する。</li> <li>・ごみ集積場の整備を進めていく。</li> </ul>

Ⅱ-1 互いに助け合うコミュニティーづくり

2 助けあい・支えあいの推進

【生活福祉部会】

項 目	(2) 女性を中心として参画したまちづくりの推進
内 容	① 女性母体づくり事業について
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各事業において、女性の活躍も目立ってきているが、もっと女性が活躍出来る場を増やす必要がある。</li> <li>・現在、一部の女性のみが活動を行っているが、若い女性を取り込んでいく必要がある。</li> </ul>
方向性 (施策)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男女ともに独身の人が多いため、出会いの場を提供する活動を行う。</li> <li>・郷土料理の伝承を後世にも引き継いでいくための活動を行う。</li> <li>・地域を元気に、明るい付知の未来のために必要な活動を行う。</li> </ul>



郷土料理の伝承



ひまわりプロジェクト

## Ⅱ－２ 地域産業を生かした活力あるまちづくり

### 1 地域産業の振興

【農林商工部会】

項 目	(1) 農業の振興
内 容	① 特産物の生産と農地の有効活用について
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業経営は小規模な兼業農家が多く生産物の大半は自家消費となっている。</li> <li>・経営農地が少なく、まとまった農地がない。</li> <li>・地域特性を生かした農産物に付加価値をつけることが課題である。</li> <li>・トマト栽培に関しては若い就労者が増え、経営規模を拡大している。</li> <li>・繁忙期の人手不足、時期限定の働き手がない。</li> <li>・同じ作物を作っているのが大半である。</li> </ul>
方 向 性 (施策)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農協と連携を図り、情報収集、販路拡大に関する勉強会を開催し、地域にあった特産品・加工品の独自産業を開発し、商品化を推進していく。</li> <li>・農業経験者の指導者組織を確立する。また、県の農業普及員を招き入れ指導を受ける。</li> <li>・観光協会等の協力を得て、休耕田などを活用した農業体験（キャンプ場近辺に畑を借り体験ツアーに組み込むなど）を計画する。</li> <li>・遊休農地の活用を具体的に提案する。</li> <li>・年間を通して生産できる方法を考える。</li> </ul>



商工会青年部との意見交換会

Ⅱ—2 地域産業を生かした活力あるまちづくり

1 地域産業の振興

【農林商工部会】

項 目	(2) 林業の振興
内 容	① 森林（山林）の果たす重要性の啓発と維持管理について
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木材価格が安価で不安定なため、職業として成り立たない。</li> <li>・山林、林道、作業道の維持管理ができていかない。</li> <li>・小学校、中学校において森林整備体験学習、記念植樹が行われているが、植樹の場所確保が必要である。</li> <li>・付知産材の販路拡大方法が課題である。</li> </ul>
方 向 性 (施策)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・森林組合を中心として県や市と連携を図り施業計画を推進する。</li> <li>・森林の市等のイベントを通じて「東濃ひのき」のブランド化「御神木の里」として町をあげて広くPRを行う。</li> <li>・将来に向かって子どもたちが森林に親しむ機会を作る活動を行う。 (森林整備体験学習、記念植樹)</li> <li>・付知峡散策ツアー等の計画することで山林の果たす役割などについて啓発を行う。</li> <li>・林道、作業道の整備、管理を要望していく。</li> <li>・リニア駅舎建設での付知産材の活用を要望する。</li> <li>・名古屋城天守閣復元工事での付知産材の活用を要望する。</li> </ul>



つけち森林の市

Ⅱ—2 地域産業を生かした活力あるまちづくり

1 地域産業の振興

【農林商工部会】

項 目	(3) 商工業の振興
内 容	① 商工業の活性化について
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大型店の進出により小売店の生活が成り立たない。</li> <li>・店主の高齢化が進み、後継者が不足している。</li> <li>・現在、若者が頑張っているが営業PRが不足している。</li> <li>・少子化により客数が減少している。</li> <li>・地元へUターンやIターン希望者がいても、就職先や住居の情報がなく、躊躇されやすい。</li> </ul>
方向性 (施策)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大手と競合出来る付加価値を付けた独自性を検討していく。</li> <li>・商工会が中心となり、組織としてHP等を活用しPR活動が出来る体制整備を図る。また、インターネットに関する勉強会を行う。</li> <li>・地元は地元で買い物をしてもらえる具体的な方策を検討する。</li> <li>・近郊からお客を呼び込む具体的な方策を検討する。</li> <li>・商工会との連携を図り活性化に対する施策を検討していく。</li> <li>・商工会付知支部が会員アンケートを取り、町内（Uターン・Iターン希望者）の需要を確認し、また、集落支援員の協力を得て、空き家と就職先情報の窓口となる。</li> <li>・GINZAマルシェを定期的に行う。</li> </ul>



花街道センター



付知GINZAマルシェ

Ⅱ-2 地域産業を生かした活力あるまちづくり

1 地域産業の振興

【農林商工部会】

項 目	(3) 商工業の振興
内 容	② 産直住宅の推進について
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・顧客のニーズにより在来工法が減少してきている。</li> <li>・後継者が不足している。</li> <li>・顧客に対して、個人事業者は耐震などデータに基づいた説明が行き届かないことがある。</li> </ul>
方 向 性 (施策)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産直住宅を推進し受注を増やし、左官業などの関連業種を盛況にする。</li> <li>・名古屋圏への PR、展示会、ツアー実施の充実を図る。</li> <li>・森林の市等市内イベントまた、市外のイベントを積極的に活用し PR を図る。</li> <li>・建設関係団体の連携を深め、後継者対策の検討を推進する。</li> </ul>



つけち森林の市建前実演



産直住宅見学ツアー

Ⅱ－２ 地域産業を生かした活力あるまちづくり

1 地域産業の振興

【農林商工部会】

項 目	(4) 農林業後継者（担い手）の育成・確保
内 容	①農業・林業の後継者、担い手の育成・確保について
現状と課題	<p><b>【農業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・園芸作物のトマト・なすへの新規就農は安定した収益が示せないので推進が難しい。</li> <li>・機械化営農組合のオペレーターの確保が難しい。</li> <li>・耕作放棄地が年々拡大している。</li> </ul> <p><b>【林業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伐期が来ている山林が大半だが、森林施業を進めていくには従事者・後継者が少ない。</li> <li>・林業は伐採までのスパンが長く、保証がないため若い就労者が定着せず高齢化が進んでいる。</li> <li>・間伐材の利用と活用が進展しつつある。</li> </ul>
方 向 性 (施策)	<p><b>【農業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規就農の受け入れについて、地域で連携できる体制整備を進める。</li> <li>・営農組合の法人化・集約化を進める。</li> <li>・農業後継者の育成推進を図る。</li> </ul> <p><b>【林業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・森林組合と連携し施業の集約化を進めていく。</li> <li>・木工業分野としての特産品開発と林業後継者の育成推進を図る。</li> <li>・間伐材の利用と活用をさらに進める。</li> </ul>



Ⅱ－２ 地域産業を生かした活力あるまちづくり

２ 観光資源のPR

【農林商工部会】

項 目	(1) 観光の振興
内 容	① 地域資源の有効活用とPRについて
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光客数が伸び悩んでいる。</li> <li>・観光客誘致に地域の資源が十分に活用されていない。</li> <li>・地域の良いところを再確認し、新たな観光資源を見つける。</li> <li>・HP、マスコミの活用、インターネットを活用したPRがされていない。</li> </ul>
方 向 性 (施策)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・良い内容のマップを残す。</li> <li>・文化財、史跡巡り、天然記念物などを利用した観光ルートの検討を行う。</li> <li>・木材加工体験、山林の散策や農業体験と観光を結び付けた体験学習型の観光を検討する。</li> <li>・キャンプ場、倉屋温泉と連携した観光ルートの確立を図る。</li> <li>・観光協会が中心となりHP、マスコミの活用、インターネットを活用したPRを推進する。</li> <li>・付知出身者との連携を図り情報発信、町づくり活動のPRを推進する。</li> <li>・道の駅を中心として付知峡、キャンプ場、温泉等のPRを行っていく。</li> <li>・河川公園運動施設、ウォーキングコース、倉屋温泉を利用し健康増進に結びつくルートづくりとPRを行う。</li> <li>・地域を盛り上げるイベント（特に夢まつり）に積極的に取り組む。</li> <li>・町内と恵北林道を利用したサイクリング大会を開催し、市内外の方に大自然や郷土料理の満喫など付知の素晴らしさを知ってもらい、観光振興に繋げていく。</li> </ul>



付知峡倉屋温泉おんぼいの湯



付知峡キャンプ場

Ⅱ－２ 地域産業を生かした活力あるまちづくり

3 リニア中央新幹線開業に向けたまちづくりの検討

【農林商工部会】

項 目	(1) リニア中央新幹線開業による地域のまちづくりの方向性の検討
内 容	① 中間駅開設に向けた地域のまちづくりについて
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駅を中心とした市内環境の大きな変化が起きる。</li> <li>・付知地域においても交流人口、物流、居住環境、地域産業への影響が必然的に有る。</li> <li>・この状況を踏まえ、今から開通時に備えた、総合的なまちづくりを検討し、地域としての受け入れ態勢の協議・検討が必要である。</li> </ul>
方 向 性 (施策)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光、移住・定住、地場産業等の地域への影響を調査分析し、関係団体等との連携により、リニア開通を見据えた「まちづくり」の検討を行う。</li> <li>・市の「リニア中央新幹線活用戦略」への提言を行う。</li> <li>・他の地域との連携も視野に入れ、観光等による付知地域への集客方法を見つける。</li> <li>・リニア駅舎建設での付知産材の活用を要望する。</li> <li>・国道整備の要望を出していく。</li> </ul>



Ⅱ-3 安全で便利な暮らしができるまちづくり

1 公共施設等の整備

【農林商工部会】

項 目	(1) 道路・公園の整備
内 容	① 観光道路及び観光施設の整備・改修の推進について
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・付知峡地内の市道において落石やのり面の崩落、ガードレールの未設置区間等があり安全に通行できないため整備の必要がある。</li> <li>・不動公園遊歩道手すり、階段が未整備ではないが、危険箇所がある。</li> </ul>
方 向 性 (施策)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市道5号線の改良整備促進を要望していく。</li> <li>・不動公園遊歩道の修繕についてまち協と区長会及び観光協会が連携を図り市へ要望していく。</li> </ul>



不動公園遊歩道



付知峡攻橋

Ⅱ-3 安全で便利な暮らしができるまちづくり

2 防災・防犯対策への取り組み

【生活福祉部会】

項 目	(1) 防災対策の推進
内 容	① 災害時や異常気象における要援護者の対策について
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主防災組織の育成が推進され、民生児童委員の協力も得られたことで、災害時要援護者（独居老人・高齢者世帯・障がい者等）の把握が可能となった。</li> <li>・スムーズな避難ができない要援護者の自主避難意識が低い。</li> <li>・平日の昼間など、働きに外へ出ている人が多い時の災害対応が心配される。</li> </ul>
方 向 性 (施策)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主防災会や老人クラブを通じて、要援護者の自主避難や早期避難の意思表示の必要性を呼びかける。</li> <li>・自主防災会単位で災害時要援護者を支援する体制づくりを進める。</li> <li>・女性や高齢者のみでの避難や援助を想定した体制づくりを検討する。</li> </ul>



小学校防災体験



防災訓練

Ⅱ-3 安全で便利な暮らしができるまちづくり

2 防災・防犯対策への取り組み

【生活福祉部会】

項 目	(1) 防災対策の推進
内 容	② 地域における防災対策について
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害を未然に防ぎ、被害を最小限にとどめる必要があるが、各地域では十分な対策ができていない。</li> <li>・自分の身は自分で守り、自分達の地域は自分達で守らなければならないという意識が低い。</li> <li>・昭和56年以前に建築された木造住宅の耐震化が進んでいない。</li> </ul>
方 向 性 (施策)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各自主防災会毎に、危険区域、避難場所等について確認し合い、周知徹底を図る。</li> <li>・自主防災会毎に「水」「食料品」等の備蓄を検討する。</li> <li>・防災講演会、地域防災リーダー養成講座等の開催により、住民の防災意識の向上と自主防災会組織の強化を図る。</li> <li>・無料耐震診断、耐震改修補助などの活用により、地域一体となった災害に強い安全なまちづくりを進める。</li> <li>・防災意識の向上を図るため、幼少期から防災について考える機会を持ち、訓練を重ねていく必要がある。</li> <li>・災害時の死亡原因としてもっとも多い窒息死や圧迫死を防ぐため、家具転倒防止の必要性を再確認し、地域ぐるみで取り組む。</li> </ul>



消防操法大会



レディスサークル消火訓練

II-3 安全で便利な暮らしができるまちづくり

2 防災・防犯対策への取り組み

【生活福祉部会】

項 目	(2) 防犯対策の推進
内 容	① 地域における子どもたちの安全の確保について
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・付知地区においても不審者が現れることが懸念されているため、子どもの通学等が心配である。</li> <li>・地域安全ボランティアとして、老人クラブや学校で通学路の見守り活動を行っているが、地域住民全体に浸透していない。</li> </ul>
方向性 (施策)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域安全ボランティアによる見守り活動を推進し、地域活動の増加を図る。</li> <li>・学校、交番、市、地域安全ボランティア、更生保護女性会等地域全体の防犯ネットワークにより子どもを守る。</li> <li>・青少年健全育成推進員、少年補導員等の協力を得て、地域ぐるみの「声かけ運動」「あいさつ運動」をさらに進める。</li> <li>・「地域のおじさんおばさん運動」への登録を呼びかける。</li> </ul>



社会を明るくする運動「あいさつ運動」



保育園・中学校合同「命を守る訓練」

Ⅱ-3 安全で便利な暮らしができるまちづくり

3 地域情報伝達無線システムの整備・運営

【総務企画部会】

項目	(1) 地域情報伝達システムの運営
内容	① 地域住民の安全・安心を守るための情報伝達システムの運営に関わる。
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ほとんどの家庭に設置されているが、設置状況は100%ではない。</li> <li>・平成 25 年 9 月の運用開始に伴い管理・運營業務をNPOつけちスポーツクラブへ委託されている。</li> </ul>
方向性 (施策)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営に関わり、情報伝達システムの活用を行う。</li> <li>・全家庭設置を目指す。</li> </ul>

平成 25 年度事業完了



## Ⅱ-4 安心できる温かい福祉のまちづくり

### 1 高齢者福祉の推進

【生活福祉部会】

項目	(1) 高齢者福祉の推進
内容	① 敬老会の継続開催について
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"><li>・行政の開催が地域主導での開催へ移行し、毎年行っている。</li><li>・高齢者の外出の機会づくりや、敬老会の趣旨を後世に残していく必要がある。</li></ul>
方向性 (施策)	<ul style="list-style-type: none"><li>・まちづくり協議会の事業として、各世帯の協力により地域主導で今後も継続して開催する。</li></ul>



敬老会「米寿・百寿のお祝い」



敬老会「皆で健康体操」



## Ⅱ-4 安心できる温かい福祉のまちづくり

### 1 高齢者福祉の推進

【生活福祉部会】

項目	(1) 高齢者福祉の推進
内容	② 高齢者の生きがい対策について
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 高齢者の趣味や特技を生かす交流の場が少ない。</li><li>・ 働く機会が少ないと感じている高齢者が多い。</li></ul>
方向性 (施策)	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 老人クラブ、青川フェニックス大学、お達者クラブ、地域行事等へ参加することにより生きがいを見つけてもらう。</li><li>・ 地域の子ども等を含めた「居場所」「たまり場」づくりへの協力を依頼していく。</li><li>・ 働き場所として、シルバー人材センターの活用を呼び掛ける。</li></ul>



青川フェニックス大学



パターゴルフ場

Ⅱ-4 安心できる温かい福祉のまちづくり

2 健康づくりの推進

【生活福祉部会】

項 目	(1) 健康づくりの推進
内 容	① 健康の維持・増進について
現状と課題	・一般を対象にした健康づくり教室の機会が少ない。
方向性 (施策)	・地域の健康推進員の協力を得て、定期的な健康づくり教室の開催を進める。 ・健康ウォーキングコースの整備により町民の健康づくりを進める。



河川公園ウォーキングコース

Ⅱ—5 次代を担う子供たちの未来を確かにするまちづくり

1 地域で取り組む子育ての推進

【教育文化スポーツ部会】

項 目	(1) 子どもたちと地域の関わり
内 容	① 地域で取り組む子育ての推進について
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少子化、核家族化がすすみ、地域においても人と人との関りが希薄になってきている。</li> <li>・子どもたちが地域の良さを実感する場が少ない。</li> <li>・学校と地域の繋がりを深める活動が少ない。</li> <li>・子どもたちの危険箇所への認識が低い。</li> <li>・少子化により小学校の生徒が減少している。</li> </ul>
方向性 (施策)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域としてながら見守りや、声掛け運動に取り組む。</li> <li>・老人クラブ等による登下校の見守りを続ける。</li> <li>・ふるさと学習、出前講座等を続け地域の人が学校へ行く機会をつくる。</li> <li>・「ふるさと巡回ツアー」などを開催し地域の良さが分かってもらえる事業を行っていく。</li> <li>・中学生との意見交換会、避難訓練(命を守る訓練)等を続けまちづくり協議会と学校との関わりを深める。</li> <li>・危険箇所の見回りを行い、必要に応じ看板修繕などを行う。合わせて、子どもや地域住民に危険箇所の周知をはかる。</li> <li>・小学校の統合問題についての調査、検討を行う。</li> </ul>



インリーダー研修会



危険箇所の見回り

Ⅱ—5 次代を担う子供たちの未来を確かにするまちづくり

1 地域で取り組む子育ての推進

【教育文化スポーツ部会】

項 目	(2) まちづくりに対する子どもたちの参加
内 容	① 子どもたちの夢をまちづくりに生かすための活動について
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちの付知地域に対する思い、将来の夢がわからない。</li> <li>・学校とまちづくりに関する機会を更に協力して増やしていく必要がある。</li> </ul>
方 向 性 (施策)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次世代を担う子どもたちが魅力を感じるまちづくりについて、アンケートや中学生との意見交換会を行い、中学生の思いや意見をまちづくりに活かす。</li> <li>・子どもが地域の行事にボランティアとして参加できる機会を作ったり、協同して実施できる事業を検討する。</li> </ul>



中学生との意見交換会



中学生による清掃ボランティア

II-5 次代を担う子供たちの未来を確かにするまちづくり

2 スポーツの推進

【教育文化スポーツ部会】

項 目	(1) スポーツの推進
内 容	① 地域スポーツ活動について
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポレク祭は地域に浸透してきているが、参加者も少なく町民体育祭のような盛り上がりがない。</li> <li>・中津川市総合体育大会(市総体)を目標に各クラブが活動している。</li> <li>・スポ少は7団体あり活発な活動をしているが、中学校の部活動にない種目があり部活動との両立が難しい。</li> <li>・中学校の部活動の少子化、スポーツ離れにより、団体競技のチーム編成が困難になってきている。</li> <li>・生涯スポーツ教室など年間を通して行っているが、参加者が少ない。</li> <li>・スポーツ施設等の老朽化に伴う改修整備が必要となっている。</li> </ul>
方 向 性 (施策)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯スポーツの普及啓発及びスポーツイベント、スポーツ団体の活動などについて、まちづくり協議会が関わり推進していく。</li> <li>・スポレク祭を地域の協力を得ながら実施するとともに、新たな種目を取り入れながら、子どもからお年寄りまで参加できるスポレク祭にしていく。</li> <li>・市総体のさらなる参加者拡大を図る。</li> <li>・中学部活動に無い種目のスポ少活動を大切に、団員が継続して活動できるよう支援する。</li> <li>・高齢者向けのスポーツの推進を図る。</li> <li>・快適な生涯スポーツを推進するため、スポーツ施設(テニスコート)の改修などを要望していく。</li> <li>・アンケートを実施し、各団体が抱えている問題点を明確にし、問題解決に向けた実践活動を行う。</li> </ul>



坪井慶介選手サッカー教室



スポーツ少年団駅伝交流会

II—6 キラリと光る歴史・文化のふるさとづくり

1 伝統芸能と文化交流の推進

【教育文化スポーツ部会】

項 目	(1) 文化・芸能活動の推進
内 容	① 後継者育成について
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各保存会等の会員も減少傾向にあり、昔ながらの活動ができなくなってきた。</li> <li>・文化協会には34団体が加盟し、活発に活動を行っているが全体的に後継者不足である。</li> <li>・伝承活動には金銭的な支援や、家族や学校などの協力が不可欠であり、多くの指導者に時間的な余裕がない。</li> <li>・後継者不足に対する具体的な対策がされていない。</li> </ul>
方 向 性 (施策)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化、伝統芸能を大切にする取り組みを行う。</li> <li>・文化祭や各種イベントへの参加などで「おんぼい節」「翁舞」「木曳音頭」「三輪神楽」などの発表、交流の場を増やす。</li> <li>・学校で郷土芸能を具体的に取り組める環境を醸成し、地域の児童生徒への普及に取り組む。</li> <li>・小中学生及び一般市民に地域の伝統文化を観ていただく機会をつくり、後継者育成に努める。</li> <li>・広報誌、マスコミを積極的に利用し活動内容を効果的にPRする。</li> <li>・後継者育成を課題としている団体との意見交換の場をつくり、意見の集約を行う。</li> </ul>



おんぼい節保存会



三輪神楽

II-6 キラリと光る歴史・文化のふるさとづくり

2 文化の振興

【教育文化スポーツ部会】

項目	(1) 文化財・史跡の保護活動
内容	① 文化財・史跡の保護について
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の文化財保護がおろそかになっている。</li> <li>・地域の人も文化財をよく知らない人が多い。</li> <li>・中津川市文化財審議員は市内で 5 名選任されているが、旧町村からの委員がいない。</li> </ul>
方向性 (施策)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・付知町文化財保存会が中心となって文化財を保護していく活動を支援する。</li> <li>・各地域文化財の環境整備(顕彰看板設置、周辺整備等)を行っていく。</li> <li>・地域内の何処にどんな文化財があるか整理しPRを行っていく。</li> <li>・ふるさと巡回ツアー、中学生へのふるさと学習等を実施することで付知の文化財を知る機会を増やす。</li> <li>・文化財審議員の選出について各地域からの選任を要望する。</li> </ul>



中学生ふるさと学習



ふるさと巡回ツアー

初 版 平成 22 年 4 月

一部改訂 平成 23 年 5 月 26 日

一部改訂 平成 24 年 4 月 27 日

一部改訂 平成 25 年 4 月 30 日

一部改訂 平成 26 年 4 月 30 日

一部改訂 平成 28 年 4 月 27 日

一部改訂 令和 1 年 5 月 日